

平成 27 年度

森林・林業施策および
「こんぜの里」周辺に関する

要 望 書

平成 27 年 12 月 8 日

栗東市内森林組合連絡協議会

平成 27 年度 予算 要望 書

森林は木材などの林産物の供給、水源涵養、国土の保全、地球温暖化の防止など多くの機能を通じ、私たちが安全に、安心して生活して行く上においても重要な役割を果たしております。

栗東市においても市土の約 45% が森林であり、適切な森林整備及び森林保全をすることが、水を通じて市民のみならず県民・近畿の方々の命を守る礎となるものであります。さらに金勝山系は、阿星山・竜王山・金勝山・鶏冠山から形成され、どちらからも湖南一帯の平野部が見渡せ琵琶湖・比良山系など望むことのできる景勝の地として親しまれています。

近年、地球温暖化の影響と思われる局所的な集中豪雨が頻発し、自然災害が多発する傾向が強まっております。本市においては昨年の台風 18 号による豪雨災害では山崩れや一級河川堤防が決壊するなどの大災害が発生し、関係者方々の尽力をうかがい知ることが出来ますが、まだまだ完全復旧まで至っていないのが現状だとして推察申し上げます。

今日まで、滋賀県は自然災害の少ない県と思われていましたが、自然災害から市民の生命・財産を守り、安心・安全な生活を確保するため、効率・効果の高い森林整備を進めていくことが重要であります。

山林整備の必要性は、下流にあたる市民の方々のご理解をいただきながら栗東の山を守り、林業の再生と森林資源を活かした森林の持つ公益的機能を十分に発揮させレクリエーション・教育文化・保健休養の場として、地域の活性化にむけた行動をするためにも市当局のご理解とご協力を賜りたく要望いたします。

【要望事項】

(1) 台風 18 号の被害を蒙った林道の復旧について

被害のあった 80 数ヶ所のうち国、県、市が努力していただき概ね目途がついた様
ですが、未だ通行が出来ない林道があります。一日も早く復旧していただき従
来の山林事業が施工できるようにしていただきたい。

(2) 林道及び生活保全林の維持管理事業の継続について

林道及び生活保全林の維持管理事業は引き続き継続して頂きたい、事業費の確保
をお願いします。

(3) J-クレジットの取り組みについて

J-クレジット制度は、省エネルギー機器の導入や森林経営などの取り組みによる
CO2 などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証す
る制度です。

本制度により創出されたクレジットは、低炭素社会実行計画の目標達成やカーボ
ン・オフセットなど、様々な用途に活用できます。

金勝生産森林組合でも J-クレジット制度を取得し酸素を売ることも視野に入れ
た運営を考えています。

創出したクレジットが、例えば、地産地消的に地元で縁の深い企業や地元地方公共団
体に利用されることなどを通じて、関係の強化に繋がりたいと思っていますので支援を
お願いします。

(4) 栗東市山林全域の森林認証取得について

琵琶湖は下流 1400 万人の命の水がめですが、その琵琶湖を守るためには、
持続可能な山林運営及び生物多様性に富み水と土壌を守ることが大事であり、それが
私たち滋賀県民の責務であります。

金勝生産森林組合では、関係機関のご協力を頂き平成 23 年 8 月に「SGEC」の森

林認証を取得しました。

栗東市の主導により、下流の方々に安心安全な琵琶湖の水が提供できるように栗東市全域の山林に森林認証の取得をお願いします。

(5) 切り捨て間伐及び枝打ち等の推進協力について

森林・林業再生プランが施行され5年、補助制度が大きく変わり搬出間伐に特化され、しかも林班単位での集約化が義務付けられており、従前の小規模単位での森林整備には補助制度がないことから、小規模森林は放置林化している。従来の育林事業への支援のほか、切り捨て間伐及び枝打ちの推進に栗東市独自の支援をお願いします。

(6) 獣害防止対策について

3年前より獣害対策にはいろいろな施策を講じて頂いておりますが、まだまだ被害は増加しております。

被害防止対策と併せて根本的に鹿や猪の頭数を減らす対策を県等関係機関と協力して実施してください。

(7) 放置林防止対策境界明確化事業の推進について

放置林防止対策境界明確化事業による境界確認は、森林施業を行う上において大変重要なことであり、平成24年度から観音寺地区より実施し、26年度からは成谷地区で実施しておりますが引き続き栗東市として財政支援をお願いします。

(8) なら枯れの被害について

栗東市にも多くなってまいりましたが、被害木は2年目に簡単に折れて落下するため林道沿いにおいては、人身事故につながる危険性が高くその対策をお願いします。

(9) 桜のテングス病除去など環境整備について

桜のテングス病除去など金勝寺を含めた金勝山周辺の環境整備をさらに進め、多くの地域住民の方々が癒しを求め、又地域以外の人も景色を楽しむため多くの人が訪れます。これらに対応するため、山に入りやすい環境を整えていただくことをお願いします。

(10) 森遊館（森林体験交流センター）

「比叡山、比良山系」「琵琶湖、湖南平野」を一望できる、食事・宿泊研修施設です。

- ① 木造の施設で外壁は板張りとなっており、建築から15年経過し塗装が劣化し、防水効果もなくなっております。そのまま放置しますと腐食や雨漏れの原因になります。年次的な改修をお願いします。
- ② 非常階段の手すりが（木造）腐食しているため非常時には大変危険です。改修をお願いします。
- ③ 森遊館の駐車場が狭いため「きのこ園」の一部を駐車場に転用し、寒冷紗を含め再整備したく存じます。寒冷紗等の設備対応をお願いします。
- ④ 琵琶湖側ガーデンの法面が一部崩壊しており水銀灯が傾いております。また、新たな亀裂も見つかりました。対応よろしくをお願いします。
- ⑤ 炭焼き機（国費）が設置されていますが、内部の金網が破損し使用できません。
「やまのこ事業」の取り組みの一つであります「間伐体験」は学校間で好評いただいております。さらに、「炭焼き体験」コースが新設できれば、参加校も増えると思います。併せてマンネリ化の防止にもつながると期待しております。対応よろしくをお願いします。
- ⑥ 洋室のエアコンが老朽化から稼働時、音鳴りが激しく睡眠できないと苦情があります。取り替えをお願いします。
- ⑦ 和室の換気扇が老朽化により故障しています。取り替えをお願いします。

(11) 森の未来館（自然体験学習センター）

平成21年リニューアルオープンし、小学校の校外学習「やまのこ」の拠点に滋賀県から指定を受け、県内各地から宿泊または日帰り研修で来館されています。また、隣には、平谷球場などの広場があり、少年野球等の合宿拠点になっています。また、周辺には生活環境保全林（自然休養林）があり森林体験の学習の場となっています。

- ① 高圧機器（7件）が更新時期になっています。計画的な取り替えをお願いします。
- ② 大研修室のカーテンが紫外線で劣化しています。また、防災カーテンになっていないため消防局から指導を受けています。取り替えをお願いします。
- ③ 宿泊室の「ふすま」「壁・横板」、研修室の「横板」が破損しています。補修をお願いします。
- ④ 102号室トイレに設置している換気扇の音鳴りが激しく、睡眠に支障ありますので、取り替えをお願いします。
- ⑤ 食器洗浄機が老朽化から頻繁に故障し、狭い厨房が混乱しております。この洗浄機は、20年以上経過し修理部品がありませんので大至急新規購入などの対応をお願いします。
- ⑥ 「やまのこ事業」で宿泊の場合、大人数の食事の対応が必要ですが、規模の大きい学校は児童数も150名を超えます。狭い厨房の上、大量の野菜を洗浄する「シンク」が小さいため時間と人手が必要になり大変苦慮しております。つきましては、新規に「シンク」の購入をお願いするものです。

(12) 道の駅・こんぜの里（自然活用総合管理棟）

道の駅としての認知度も上がり、こんぜの里周辺の玄関口として、食事や休憩場所となっております。また、併設している「グラウンドゴルフ場」の利用者や県民の森来場者の駐車場となっております。

- ① 中庭に設置しています「木製フェンス」が腐食から倒れる危険性があります。足湯やトイレの利用者に危険がおよぶ可能性であります。フェンスの撤去をお願いします。
- ② 事務室、天井吹き出しエアコンが老朽化から、作動しなくなっていますので修理をお願いします。

(13) バンガロー村

世界バンガロー村として開村し、「ウッディワールド」と「ドログワールド」に分かれています。

- ① 進入路の法面崩壊の復旧とウッディワールド「ヤグルマソウ」横斜面の安全確保。
- ② 林道が崩壊したため電柱が傾いています復旧をお願いします。
- ③ ログワールド内、「ヒヤシンス」裏山斜面が、今年の台風 18 号で崩落した場所（チャーリップ・スズラン）と同じ延長線上にあり、同様の災害が発生する危険性もあることから斜面の整形等で「ヒヤシンス」の安全確保をお願いします。

(14) グランドゴルフ場

平成 22 年、2 コースの 16 ホール「日本グランドゴルフ協会認定コース」として開場した。また、平成 23 年には 8 ホール増設し、全芝生コースとなっております。ゴルフ場の進入道路（岩坪林道）が一部沈下し、舗装路面に亀裂が入るなど崩落の危険性が高まっております。

- ① 岩坪林道の法面崩壊防止工事を至急を実施していただきたくお願いします。
- ② 〃 電柱が傾いており復旧をお願いします。

(15) 温 泉

平成 9 年、温泉可能性調査として栗東市がさくい工事を実施しました。

※ 水量は 50ℓ/分

※ 泉質はフッ素 2.8mg/ℓ ・ メタケイ酸 90mg/ℓ の結果となった。

この結果から、温泉法第 2 条に定める含有量を超える分析値を得ており同法による温泉分類では「単純泉」に分類される。(温泉の定義:湯温 25℃以上または 2 種類以上の泉質)

メタケイ酸の含有量が 50mg/ℓ 以上だと「美白の湯」に認定。

現在の温泉汲み上げは不具合により中止されています。水中ポンプが 100メートル付

近から下りないとのこと、土が溜まっていて降りないか傾いているとの指摘もあるが、本工事をした内外エンジニア側に確認したところ傾きは考えにくいとのこと。

当面の課題として、足湯、露天風呂、各施設への給水可能性を図りたい。

① 水中カメラで調査し現在の状況を確認していただきたい。

(16) 平谷第1浄水場

平成60年に(当時事業名 ウッドヒルランド)水道事業で山水を原水とする浄水場で日最大給水量60 m³として開始しました。

① 「こんぜの里」の運営に欠かすことのできない浄水場です。簡易水道施設で高度処理はできていませんが、年中無休で業者に管理委託されています。しかし、今日まで管理されている業者は当施設を熟知しており、経験豊富で信頼できましたが、高齢なため十分な維持管理が出来ていません。後継者の育成が急務だと思います。ご検討をお願いします。

(18) 受水槽の外灯および監視カメラ設置について。

各施設には受水槽が設置されていますが、どこも外灯がありません。監視カメラもありません。

① 無防備で方が一を心配しています。対応をお願いします。

② 水不足が生じた場合、飲料水をタンク車で搬入し補給する受水槽(5000 t)は夜間照明がなく作業するに危険です。外灯の設置を優先的にお願いします。

栗東市議会議長
高野正勝様

平成27年12月8日

栗東市内森林組合連絡協議会

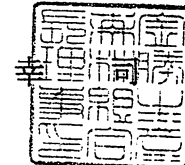
滋賀南部森林組合
代表理事組合長

相井



金勝生産森林組合
組合長理事

澤



蜂屋生産森林組合
組合長理事

中井



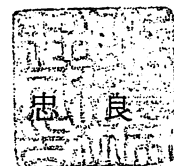
栗東市議会議長
高野正勝様

平成27年12月 8日

栗東市内森林組合連絡協議会

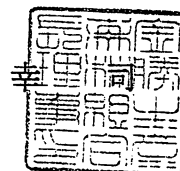
滋賀南部森林組合
代表理事組合長

相 井



金勝生産森林組合
組合長理事

澤



蜂屋生産森林組合
組合長理事

中 井

